

# 全方位木 DP

## えびちゃん

2019 年 11 月 14 日

### 1 問題設定

$n$  頂点の木  $(V, E)$  と、単位元  $e_{\oplus}$  を持つモノイド  $(T, \oplus)$  および関数  $f: T \times T \rightarrow T$  に関する問題を考える。次のように型  $T$  の値  $dp_r[v]$  を定義する。

$$dp_r[v] = f(dp_r[c_1^r] \oplus \cdots \oplus dp_r[c_k^r]).$$

ここで、根を  $r$  としたときの頂点  $v$  の子を番号の昇順に  $(c_1^r, \dots, c_k^r)$  とする。また、 $v$  が葉のときは次のように定義する。

$$dp_r[v] = f(e_{\oplus}).$$

このとき、 $r = \{1, \dots, n\}$  について  $dp_r[r]$  を求めたい。

### 2 考察

まず、以下が成り立つ。

$$\begin{aligned} dp_r[v] &= f(dp_r[c_1^r] \oplus \cdots \oplus dp_r[c_k^r]) \\ &= f(dp_v[c_1^r] \oplus \cdots \oplus dp_v[c_k^r]). \end{aligned}$$

すなわち、各  $r$  について  $dp_r[1], \dots, dp_r[n]$  を求める必要はなく、頂点の対  $(u, v)$  について  $dp_u[v]$  を求める必要があるのは  $u$  と  $v$  が隣接する場合のみである。そのため、 $|V|^2$  個の要素を求める必要はなく、 $2|E|$  個の要素を求めれば十分であることがわかる。

さて、 $dp_r[v]$  を求めることを考える。根を  $r$  としたときの  $v$  の子は  $(c_1^r, \dots, c_k^r)$  であった。このとき、 $v$  と隣接する頂点を番号の昇順に  $(u_1, \dots, u_m)$  とすると  $m = k + 1$  となる。さらに、根を  $r$  としたときの  $v$  の親を  $p_r$  とすると、ある  $1 \leq m_r \leq m$  が存在して  $u_{m_r} = p_r$  となる。つまり、 $u_1, \dots, u_m$  を  $m_r$  を境に二分でき、以下のように書ける。

$$\begin{aligned} dp_v[c_1^r] \oplus \cdots \oplus dp_v[c_k^r] &= (dp_v[u_1] \oplus \cdots \oplus dp_v[u_{m_r-1}]) \oplus (dp_v[u_{m_r+1}] \oplus \cdots \oplus dp_v[u_m]) \\ &= \left( \bigoplus_{i=1}^{u_{m_r}-1} dp_v[c_i] \right) \oplus \left( \bigoplus_{i=u_{m_r}+1}^m dp_v[c_i] \right). \end{aligned}$$

これを高速に求めるためには、 $dp_v$  の  $\oplus$  に関する左右からの累積和を持っておけばよい。ここで、 $m_r$  以外は  $r$  に依存していないことがうれしい。

さて、各  $v$  について  $dp_v$  の  $\oplus$  に左右からの累積和を求めたい。これには二回 DFS を行うとよい。まず、頂点 1 から DFS を行うことで 1 を根とする向きの値は求められる。すなわち、隣接する頂点对  $(u, v)$  について、 $u$  の方が 1 に近いならば  $dp_u[v]$  はこの DFS で求められる。ここで、 $dp_1$  の各値は求められているので、 $dp_1$  の累積和も計算できる。

その後もう一度 DFS を行い、残りの  $dp_v[u]$  を求める。このとき、 $dp_v[u]$  を求めるために必要な  $dp_v[?]$  について、 $dp_v[u]$  以外は一回目の DFS で求められている。一方で、(探索順から)  $dp_v[u]$  は  $dp_u$  の累積和は求められているので、これを適切に求めることで  $dp_v[u]$  も計算できる。

これらにより各  $(u, v)$  について  $dp_v[u]$  を求めることができた。また、 $dp_v$  について累積和を求めるときに、全体の和を計算することで  $dp_v[v]$  を求められ、元の問題を解くことができた。

木の辺に型  $U$  の重みがついているとき、 $f$  を  $(T \times U) \times T \rightarrow T$  にするとよいかも。

〈 図が入る予定. 〉

### 3 実装

$dp_0[v]$  では  $dp_v$  の左からの累積和を,  $dp_1[v]$  では  $dp_v$  の右からの累積和を保持する.  $dp_0[v]$  および  $dp_1[v]$  は  $v$  の次数  $\delta(v)$  要素の配列である.

#### 3.1 擬似コード

---

**Algorithm 1:** 全方位木 DP

---

```
function DFS0( $v, p$ )
     $x \leftarrow e_\oplus$ 
    foreach neighbor  $u_i$  of  $v$  do
        if  $u_i = p$  then
             $par[v] = i$                                 ▷ mark  $i^{\text{th}}$  neighbor as parent.
            continue
         $x' \leftarrow \text{DFS0}(u, v)$ 
         $x \leftarrow x \oplus x'$ 
         $dp_0[v][i+1] \leftarrow dp_1[v][i] \leftarrow x'$ 
    return  $f(x)$ 

function DFS1( $v, p, p_v$ )
    if  $v \neq 1$  then
         $x \leftarrow f(dp_0[p][p_i] \oplus dp_1[p][p_i+1])$ 
         $dp_0[v][par[v]+1] \leftarrow dp_1[v][par[v]] \leftarrow x$ 
    for  $i \in (2, \dots, \delta(v))$  do  $dp_0[v][i] \leftarrow dp_0[v][i-1] \oplus dp_0[v][i]$ 
    for  $i \in (\delta(v)-1, \dots, 1)$  do  $dp_1[v][i] \leftarrow dp_1[v][i] \oplus dp_1[v][i+1]$ 
     $dp[v] \leftarrow dp_1[v][0]$ 
    foreach neighbor  $u_i$  of  $v$  do
        if  $u_i \neq p$  then DFS1( $u_i, v, i$ )

DFS0(1, 0), DFS1(1, 0, 0)
```

---

#### 3.2 C++

```
template <typename Monoid, typename UndirectedTree>
auto dp_on_tree(UndirectedTree const& g) {
    Monoid e{};
    size_t n = g.size();
    std::vector<size_t> parent(n, -1_zu);
```

```

std::vector<std::vector<Monoid>> dp0(n), dp1(n);
std::vector<Monoid> dp(n);
for (size_t i = 0; i < n; ++i) {
    dp0[i].resize(g[i].size()+1, e);
    dp1[i].resize(g[i].size()+1, e);
}

make_fix_point([&](auto dfs0, size_t v, size_t p) -> Monoid {
    Monoid res = e;
    typename UndirectedTree::weight_type weight{};
    for (size_t i = 0; i < g[v].size(); ++i) {
        size_t u = g[v][i].target();
        if (u == p) {
            parent[v] = i;
            weight = g[v][i].weight();
            continue;
        }
        Monoid tmp = dfs0(u, v);
        res.append(tmp);
        dp0[v][i+1] = dp1[v][i] = tmp;
    }
    return res.f(weight);
})(0, -1_zu);

make_fix_point([&](auto dfs1, size_t v, size_t p, size_t pi) -> void {
    if (v != 0) {
        Monoid tmp = (dp0[p][pi] + dp1[p][pi+1]).f(g[p][pi].weight());
        dp0[v][parent[v]+1] = tmp;
        dp1[v][parent[v]] = tmp;
    }
    {
        for (size_t i = 1; i < dp0[v].size(); ++i)
            dp0[v][i].prepend(dp0[v][i-1]);
        for (size_t i = dp1[v].size()-1; i--;)
            dp1[v][i].append(dp1[v][i+1]);
        dp[v] = dp1[v][0];
    }
    for (size_t i = 0; i < g[v].size(); ++i) {
        size_t u = g[v][i].target();

```

```
        if (u != p) dfs1(u, v, i);
    }
})(0, -1_zu, -1_zu);

return dp;
}
```